

# U.S. Indicators

発表日:2021年5月17日(月)

## 米国 4月生産は半導体不足でも回復持続

～ハイテク部門が好調だが自動車部門が全体の足かせに～

第一生命経済研究所 経済調査部

主任エコノミスト 桂畑 誠治 (Tel:03-5221-5001)

21年4月の鉱工業生産は、前月比+0.7%（3月同+2.4%）と鈍化した。市場予想同+0.9%を下回ったものの、20年11月-21年3月合計で0.2%p上方修正されており、実態は予想通りの内容。公益が前月比+2.6%（3月同▲9.0%）と拡大に転じた一方、鉱業が前月比+0.7%（3月同+8.9%）と鈍化し、製造業は前月比+0.4%（3月同+3.1%）と市場予想の同+0.3%を上回ったが鈍化した。4月の生産活動は、ハイテクの好調が持続したものの、半導体不足による自動車生産の減少等を背景に拡大幅が抑えられた。3ヶ月移動平均・3ヶ月前対比年率では、鉱工業生産が▲3.2%（前月+1.2%）、製造業生産が▲3.3%（前月+1.2%）とマイナスに転じたが、2月の大寒波の影響であり、コロナ危機を受けた財需要の拡大を背景に回復基調を維持していると判断される。米国の生産活動は、新型コロナウイルスのパンデミックに伴って財需要が拡大するなか、半導体などの不足、輸送能力の不足などサプライチェーンの問題が生じたことで制約を受け、回復ペースが鈍くなっている。

鉱工業の設備稼働率は、生産の拡大によって74.9%（前月74.4%）と上昇した。また、製造業も74.1%（前月73.8%）と上昇した。

今後に関して、経済支援策による需要拡大、テレワークや巣ごもりなどによる財需要の拡大傾向、在庫不足等を背景に、製造業生産は前月比で拡大モメンタムを取り戻し、勢いを増すと予想される。ただし、世界的な需要拡大や火災など供給問題による半導体不足の継続で、21年前半の生産は抑制される公算が大きい。

### 鉱工業生産

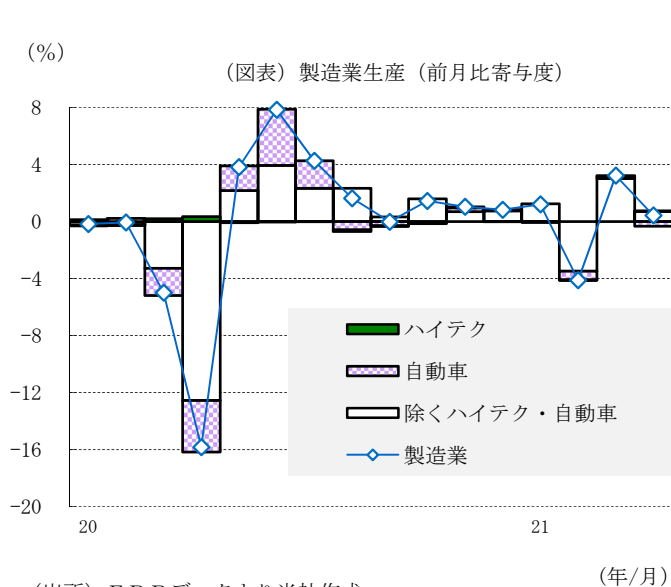
|       | 鉱工業生産 |         | 製造業<br>(NAICS) | 鉱業    | 公益   | ハイテク<br>関連 | 除ハイテク<br>関連 | 自動車関連  | 設備稼働率 |              | 生産能力 |
|-------|-------|---------|----------------|-------|------|------------|-------------|--------|-------|--------------|------|
|       |       |         |                |       |      |            |             |        | 全産業   | 製造業<br>(SIC) |      |
| 20/03 | ▲4.4  | (▲4.7)  | ▲5.0           | ▲1.7  | ▲3.1 | +1.3       | ▲5.0        | ▲29.2  | +73.6 | +71.4        | +0.0 |
| 20/04 | ▲12.7 | (▲16.3) | ▲15.8          | ▲6.8  | +1.8 | ▲2.3       | ▲15.8       | ▲76.7  | +64.2 | +60.1        | ▲0.0 |
| 20/05 | +0.9  | (▲15.7) | +3.8           | ▲11.3 | ▲0.7 | ▲0.8       | +3.7        | +110.4 | +64.8 | +62.4        | ▲0.0 |
| 20/06 | +6.2  | (▲10.5) | +7.7           | +2.5  | +1.3 | +2.2       | +7.5        | +125.6 | +68.9 | +67.2        | ▲0.0 |
| 20/07 | +4.2  | (▲6.6)  | +4.2           | +3.4  | +5.1 | +2.1       | +4.2        | +31.0  | +71.8 | +70.1        | ▲0.0 |
| 20/08 | +1.0  | (▲6.3)  | +1.7           | ▲1.0  | ▲1.7 | +0.5       | +1.8        | ▲3.9   | +72.5 | +71.3        | ▲0.0 |
| 20/09 | ▲0.1  | (▲6.1)  | +0.1           | +0.9  | ▲2.2 | +1.5       | +0.0        | ▲2.4   | +72.5 | +71.4        | ▲0.0 |
| 20/10 | +1.1  | (▲4.7)  | +1.5           | ▲1.7  | +1.5 | +1.9       | +1.5        | +0.3   | +73.2 | +72.4        | ▲0.0 |
| 20/11 | +0.9  | (▲4.7)  | +0.9           | +3.6  | ▲2.5 | +0.2       | +1.0        | +3.0   | +73.9 | +73.1        | ▲0.0 |
| 20/12 | +1.1  | (▲3.4)  | +0.7           | +0.8  | +3.8 | ▲0.3       | +0.7        | ▲0.8   | +74.7 | +73.7        | ▲0.0 |
| 21/01 | +0.9  | (▲2.1)  | +1.2           | +2.2  | ▲3.1 | +0.8       | +1.2        | +0.9   | +75.3 | +74.6        | +0.0 |
| 21/02 | ▲3.5  | (▲5.7)  | ▲4.0           | ▲9.5  | +7.8 | ▲0.2       | ▲3.9        | ▲9.9   | +72.7 | +71.6        | +0.0 |
| 21/03 | +2.4  | (+1.0)  | +3.1           | +8.9  | ▲9.0 | +2.2       | +3.1        | +3.8   | +74.4 | +73.8        | +0.0 |
| 21/04 | +0.7  | (+16.5) | +0.4           | +0.7  | +2.6 | +0.4       | +0.3        | ▲4.3   | +74.9 | +74.1        | +0.0 |

(注)カッコ内は前年比

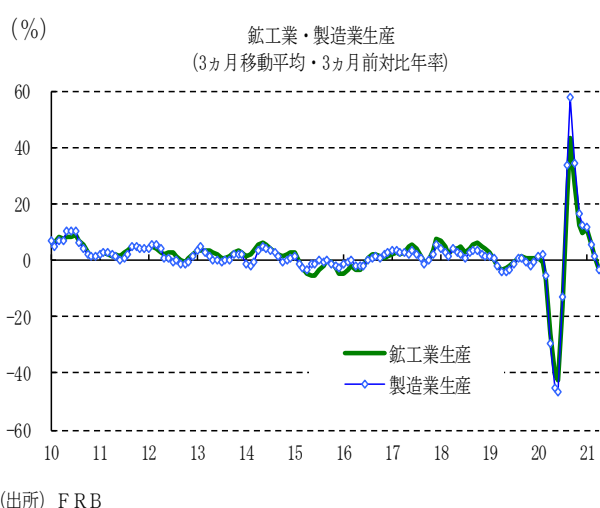
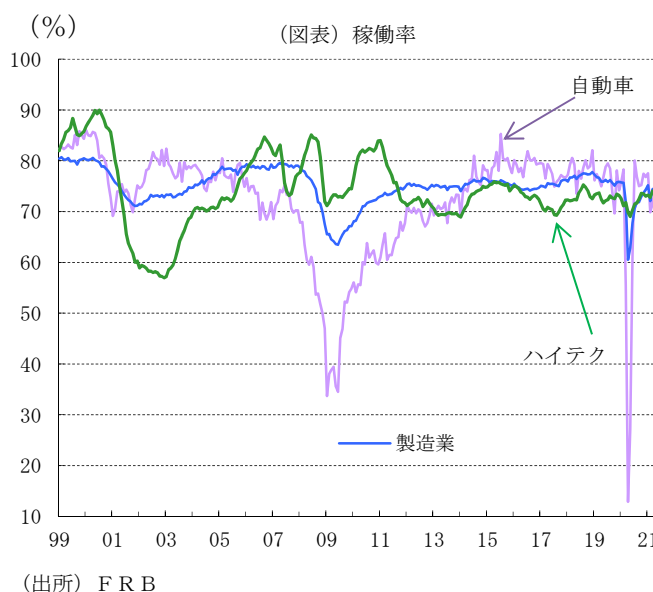


製造業の業種別の動向をみると、前月比で減少した業種は、自動車・同部品（▲4.3%）、その他製造業（▲1.1%）、非鉄（▲0.8%）、プラスチック・ゴム（▲0.8%）、航空宇宙・その他輸送機器幅（▲0.7%）、印刷・同サポート（▲0.4%）、加工金属（▲0.2%）、家具・関連製品（▲0.2%）、紙パ（▲0.1%）の9業種に増加した。一方、前月比で増加した業種は、拡大幅の大きい順に、化学（+3.2%）、一次金属（+1.7%）、石油・石炭製品（+1.6%）、電気設備・機器・同部品（+1.1%）、一般機械（+0.7%）、アパレル・皮革（+0.7%）、その他耐久財（+0.6%）、コンピューター・電子（+0.3%）、食品・飲料・タバコ（+0.3%）、木材製品（+0.2%）、繊維（+0.1%）となった。

なお、前年比では、全業種が拡大した。



(出所) FRBデータより当社作成



本資料は情報提供を目的として作成されたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。作成時点で、第一生命経済研究所経済調査部が信ずるに足ると判断した情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見直しは予告なく変更されることがあります。また、記載された内容は、第一生命保険ないしはその関連会社の投資方針と常に整合的であるとは限りません。